

令和5年度 年間学習指導計画案

| | | | | | |
|-------|-----------------|-----|------|--------------------|----------------------|
| 科目 | 保健 | 単位数 | 1 単位 | 学年・学科・コース | 2年・普通科・普通コース、スポーツコース |
| 使用教科書 | 現代高等保健体育（大修館書店） | | 副教材等 | 現代高等保健体育ノート（大修館書店） | |

1. 学習の到達目標と評価の観点

| | |
|---------|---|
| 学習の到達目標 | 生涯を通じる健康について、思春期、結婚生活、加齢の段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること、また、労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題について理解する。 人間の生活や産業活動が自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことを理解し、改善の対策を考える。 |
|---------|---|

| 評価の観点 | | |
|---|--|--------------------|
| a. 知識・技能 | b. 思考・判断・表現 | c. 主体的に学習に取り組む態度 |
| 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 | 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 | 学習に主体的に取り組もうとしている。 |

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

| 月 | 学習項目 | 学習内容（ねらい） | 評価の観点 | | | 評価規準 | 評価方法 |
|--------|--|--|-------|---|---|--|----------------------|
| | | | a | b | c | | |
| 4 | 3 単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 | ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・思春期における体の変化を女性と男性に分けて説明できる。 | ○ | | | ・生涯の各段階と健康の関わりについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 | 定期検査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | ・健康に関わる原則や概念を基に整理したり個人及び社会生活と関連付け自他や社会の課題を発見している。 | |
| | | | | | ○ | ・思春期と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |
| 5 | 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 | ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・妊娠、出産の過程における健康課題について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 | ○ | | | ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解したことを言ったり書いたりしている。 | 定期検査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | ・思春期と健康について習得した知識をもとに心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために性に関わる情報を適切に整理している。 | |
| | | | | | ○ | ・妊娠、出産と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |
| 6 | 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 | ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・加齢に伴う心身の変化について説明できる。 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 | ○ | | | ・加齢に伴い心身の機能や形態が変化することについて理解したことを言ったり書いたりしている。 | 定期検査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | ・中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取り組みと社会的な対策を整理している。 | |
| | | | | | ○ | ・働くことと健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |
| 7 8 | 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 | ・労働災害の種類とその原因について説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 | ○ | | | ・労働災害を防止する対策が必要であることについて、言ったり書いたりしている。 | 定期検査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | ・労働災害の防止に向けて個人の取り組みと社会的な取り組みについて整理している。 | |
| | | | | | ○ | ・健康的な職業生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |

| 月 | 学習項目 | 学習内容（ねらい） | 評価の観点 | | | 評価規準 | 評価方法 |
|---------|---|--|-------|---|---|--|----------------------|
| | | | a | b | c | | |
| 9 | 4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 | <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・人間の生活や産業活動は大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし健康に影響を及ぼしたり被害をもたらすことについて、理解したことを書いたり書いたりしている。 | 定期考査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・健康に関わる原則や概念を基に整理し、自他や社会の課題を発見している。 | |
| | | | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・健康を支える環境づくりについて課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |
| 10 | 3 環境と健康にかかわる対策 4 ゴミの処理と上下水道の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・汚染物質の排出ができるだけ制御したり排出された汚染物質を適切に処理する必要性を理解し書いたりしている。 | 定期考査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・産業活動によって引き起こされる自然環境汚染について自他や社会の課題を発見している。 | |
| | | | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |
| 11 | 5 食品の安全性 6 食品生活にかかわる活動 7 健康サービスとその活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・保健行政の役割について説明できる。 | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・健康を保持増進するには、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを書いたり書いたりしている。 | 定期考査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 | |
| | | | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |
| 12 1 | 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて説明できる。 | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・疾病からの回復や悪化の防止には個々の医薬品の特性について理解したことを書いたり書いたりしている。 | 定期考査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の制度とその活用について医薬品には承認制度があり販売に規制が設けられていることと関連付けながら生活の質の向上のため、自他や社会の課題を発見している。 | |
| | | | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・医療サービスについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |
| 2 3 | 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際機関、民間機関などの保健活動について説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。 | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・健康を支えるために健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策について理解したことを書いたり書いたりしている。 | 定期考査 授業態度 発問評価 |
| | | | | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の保健、医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、自他や社会の課題を発見している。 | |
| | | | | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・保健活動について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | |